

## 小豆郡 研究のあゆみ

1 研究主題 考える力を育てる学びの構築 ～ 読む力の見極めとその指導・評価の在り方を求めて ～

### 2 研究活動の概要

- (1) 4月26日 土庄小学校 研究組織作り, 研究主題の設定, 研究計画の立案
- (2) 5月24日 土庄小学校 研究授業 授業者 福濱 美佐  
6年 文章の構成を考えながら読もう(イースター島にはなぜ森林がないのか)  
指導者 香川大学附属高松小学校 教諭 田崎 伸一郎
- (3) 9月27日 淵崎小学校 研究授業 授業者 坂本 和美  
3年 「お祭りじてん」を作ろう(つな引きのお祭り)  
指導者 香川県教育センター研修企画課 主任指導主事 真鍋 佳樹

### 3 研究内容

- ・ 6年生の研究授業では, 要約のつまずきに対応する支援として, 主に「課題の見通しをもたせる」「習熟度に合わせた3つのグループごとに学習を進める」「時間をずらして各グループへの支援を行う」という3つの提案がなされた。討議では, 要約を行うまでの各学年での系統的な指導についても話し合われた。指導の先生からは, 要約するためには, 大事な言葉を見つけれられるだけではなく, それを表現する力も必要だというご指導をいただいた。
- ・ 3年生の研究授業では, まとまりの観点に沿って読み取らせる支援として, 大事なことばや事柄を見つけていく実践がなされた。討議では, 大事な言葉のとらえ方や各観点での分け方について話し合われた。指導の先生からは, 観点を作り出すことは, 「活用・修正」することであり, 児童に話し合わせて検討させることが大切だというご指導をいただいた。

## さぬき・東かがわ市 研究のあゆみ

1 研究主題 確かな国語力を育てる指導と評価の在り方を求めて

### 2 研究活動の概要

- (1) 4月26日 研究主題設定, 研究組織づくり, 研究計画立案
- (2) 6月6日 研究授業 さぬき市立志度小学校 永坂 真美, 平木 義章  
6年 気持ちのよい話し方をしよう
- (3) 7月25日 夏季研修会 香小研夏季研修会発表について, 音読の指導について
- (4) 11月15日 研究授業 東かがわ市立丹生小学校 細川 智代  
1年 ようすをおもいうかべながらよもう(おとうとねずみチロ)
- (5) 1月18日 研究紀要「国語の歩み」, 児童文集「はらっぱ」の編集作業

### 3 研究内容

- ・ 6月の研究会では, 習熟度別少人数指導による小単元の授業が行われた。相手や相手の状況に気を配った話し方を身に付けることを目標として, 実際に会話する時間を多く取っていた。発展コースではグループ活動で意見を出し合い, 基礎コースではペア学習で交流して, 状況に応じた話し方を身に付けた。また, 小単元で実施しているチャレンジ 10分(国語力向上の取り組み)も提案された。
- ・ 11月には, 「読むこと」と「書くこと」を関連させた授業が実践された。挿絵や言葉を手がかりにして, 主人公の気持ちを想像し, 手紙を書く活動につなげた。入門期の児童の読解の支援として, 分かりやすいワークシート・実物の提示などの工夫も提案された。

## 坂出市・綾歌郡 研究のあゆみ

- 1 研究主題 自分の考えや思いを伝え合う子どもの育成  
楽しく学び合う国語の授業

### 2 研究活動の概要

- (1) 4月18日 研究組織作り, 研究主題の設定, 研究計画立案  
(2) 6月1日 宇多津小学校 研究授業・討議 授業者 宮下千絵  
3年 段落ごとに内容をとらえながら読もう 「自然のかくし絵」  
指導者 宇多津北小 宮野真也教頭, 附属坂出小 中田 祐二  
(3) 10月31日 金山小学校 研究授業・討議 授業者 大岡礼子, 西川英里  
4年 暮らしの中の世界について話し合おう 「暮らしの中の和と洋」  
指導者 附属坂出小 森山敬三教頭, 金崎知子

### 3 研究内容

- (1) 宇多津小学校の授業より
- ・ 説明的文章の基本的な読解の技能を習得するとともに, 筆者を意識した読みにより説明的文章を読む楽しさを味わうことをねらいとしていた。児童は, 前時までの語句や文型を手がかりにした読み取りの学習をもとに, 本時では, さらに文脈の中で中心文を見つけるという方法を学んだ。「中心文を見つける」という難しい学習課題に対しても児童は終始課題意識をもって学習できており, ねらいを明確にした授業構成の大切さを学んだ。
  - ・ 児童一人一人に, 自分の考えを持つようとする意欲的な姿勢が見られた。それは, 授業中に見つけた学び方のキーワードの掲示, 授業やドリルタイムを利用した「国語の素・基」によるスキル学習, またヒントカードによる支援など, 読解の技能を身に付けさせるための教師の細やかな指導の成果であると考えられた。
  - ・ 対立する立場の意見を発表し合い, 聞き合う活動を通して, 中心文の見つけ方を確信していく学び合いの方法とその有効性について討議された。子どもたちが「中心文をどういうものと捉えているか」を確認した上で, 学び合いにつなげていくことの必要性を学んだ。
- (2) 金山小学校の授業より
- ・ 説明的文章の読解の技能と, 身の回りにある世界の文化について調べたことを筋道立てて分かりやすく話す力の育成がねらいであった。本時の学習活動では, 簡単な説明文で捉えた構成パターンをもとにして教材文の構成を考えていく活動を通して, 書かれている内容を読み取っていった。説明文の基本的読解の技能の育成が明確にねらいとしてもたれており, 教材文の表現方法を後半の話す活動に生かす手立てと, 身に付けさせたい力を明確にすることの大切さを学んだ。
  - ・ 「自分の力で文の構成を考える 2・3人で考えを伝え合う 全体場で話し合う」こつこつコースと, 「つなぎの言葉を全体でおさえる 自分で分ける 全体で分ける」じっくりコースの学習活動が提案され, 児童の読む力の実態に合わせた支援活動の在り方について考察を深めることができた。
  - ・ 児童が, 文を読み込む音読をしっかりと身に付けていた。さらに「大事な言葉」の捉えを統一化し, 着目させたり, 段落の中心文を見付けたりすることの有効性が討議された。また, 教材文の表現方法を自分の表現に生かしていくために, 筆者のメッセージを読み取っていく読み方についても学んだ。

## 仲多度郡・善通寺市 研究のあゆみ

1 研究主題 思考力，想像力を伸ばす国語科学習指導

### 2 研究活動の概要

- (1) 4月19日 善中央小 研究組織作り，研究主題の設定，計画立案
- (2) 6月14日 善東部小 研究授業 2年「ニャーゴ」  
授業者 亀井眞弓 指導者 森山敬三教頭（附属坂出小）
- (3) 7月25日 善筆岡小 夏季研修会提案発表及び質疑応答，2学期教材の教材研究  
指導講話 寺岡英郎校長（多度津小学校）
- (4) 11月15日 高篠小 研究授業 4年「ごんぎつね」  
授業者 佐々原正樹 指導者 森山敬三教頭（附属坂出小）

### 3 研究内容

- ・ 善東部小（2年）の授業では，意欲的に活動するために，相手意識・目的意識を持たせる単元構成が工夫された授業が提案された。場面の様子や気持ちについて想像を広げながら読み取るための手立てや読み取ったことを表現に生かす手立てについて話し合われた。指導者の森山先生からは，文学作品で育てる「読むこと的能力」についてご指導をいただいた。
- ・ 高篠小（4年）の授業では，文章を根拠に，友達との意見交流を通して，自分の考えを見直し，読みを深めさせる授業が提案された。多様な解釈の場を経験することによって想像力を鍛えることの重要性が話し合われた。指導者の森山先生からは，今求められている読解力を育てる指導のあり方についてご指導をいただいた。

## 三豊市・観音寺市 研究のあゆみ

1 研究主題 国語力の見極めとその指導・評価の在り方を求めて

- 考える力を育てる学びの構築 -

### 2 研究活動の概要

- (1) 4月19日 観音寺南小学校 研究組織作り，研究主題の設定，研究計画の立案
- (2) 6月12日 曾保小学校 三観小研 研究授業  
3年 段落ごとに内容をとらえながら読もう「自然のかくし絵」  
授業者 植田 秀子
- (3) 7月25日 夏季研修会  
・全国学力・学習状況調査問題の分析，作文教材の教材研究  
・講演「PISA型『読解力』の育成について」  
講師 香川県教育センター 主任指導主事 真鍋 佳樹
- (4) 12月～1月 やまなみ作文の編集

### 3 研究内容

曾保小学校は，キーワードをもとに中心文を見つけながら，文章を正しく読み取る学習を提案した。児童は言葉のキャッチボールをしながら，キーワードをどんどん見つけていった。一つの文章の見方をパターン化して身に付けておくことは，基礎的な部分として大切である。その上で，「例とまとめの文」「説明とまとめの文」「事実とまとめの文」など，段落の中心文の見つけ方を広げていくことの大切さを学んだ。

## 丸亀市 研究のあゆみ

1 研究主題 確かな国語力をつける授業の工夫

### 2 研究活動の概要

(1) 4月18日 城乾小学校 研究組織作り, 研究主題の設定, 研究計画立案

(2) 6月13日 研究授業・討議

城東小学校 2年「様子や気持ちを想像しながら読もう ~雨の日のおさんぽ~」

授業者 宮崎裕美 指導者 前里壽子校長(栗熊小)

城南小学校 6年「文章の構成を考えながら読もう

~イースター島にはなぜ森林がないのか~」

授業者 長尾愛子 指導者 森山敬三教頭(附属坂出小)

(3) 12月5日 研究授業・討議

富熊小学校 1年「さようなら!丸亀城動物園 ~わたしのはっけん~」

授業者 伊達美智子 指導者 宮野真也教頭(宇多津北小)

飯山南小学校 4年「中心をはっきりさせて書こう ~活動ほう告を書こう~」

授業者 土岐味代子 指導者 森山敬三教頭(附属坂出小)

### 3 研究内容

考える力をつけるための授業の工夫(2年「雨の日のおさんぽ」)

- ・ 叙述に即して順序よく場面の様子を読み取るためのお散歩マップの工夫
  - ・ 五感を使って読み味わうため, 言い換えたりオノマトペで表現したりする工夫
- 書く力をつけるための授業の工夫(1年「わたしのはっけん」)
- ・ 動物の様子を詳しく表すための問いと答えの形式を取り入れた発見カードの工夫
  - ・ 自分の考えを明確にしたり, 友だちの考えを取り入れたりするペア活動の工夫

## 高松市 研究のあゆみ

1 研究主題 真に生きて働く国語力を育てる国語科授業の創造

~自分の考え, 感じたことを表すために必要な「表す力」をつける~

### 2 研究活動の概要

(1) 6月14日(木) <第1回研究授業・討議>

**西ブロック** 川岡小学校 4年 物語のもり上がりについて考えよう

~「夏のおくりもの」~ 授業者 宮谷 早苗, 原田 幸子

**東ブロック** 松島小学校 5年 文章の組み立てを考えながら読もう

~「動物の体」~ 授業者 峯瀬麻里子

**南ブロック** 植田小学校 2年 ようすや気持ちをそうぞうしながら読もう

~「雨の日のおさんぽ」~ 授業者 香西 紀子

(2) 7月26日(水) <夏季研修会> 国分寺会館

研修1 第1回教科研修会報告(各ブロックより成果・課題等の発表)

研修2 言語能力育成のための講演・演習

講演「歩けば世界が見えてくる」

講師 FM香川パーソナリティー 中井 今日子先生

(3) 11月15日(木) <第2回研究授業・討議>

**西ブロック** 円座小学校 4年 「環境を守る工夫」についてパンフレットにまとめよう

~「ウミガメのはまを守る」~ 授業者 河田 景子

**東ブロック** 築地小学校 6年 いろいろな言葉について調べよう

~「言葉の意味を追って」~ 授業者 藤本 幹子

**南ブロック** 十河小学校 1年 ようすをおもいうかべながらよもう

~「おとうとねずみちろ」~ 授業者 美濃由加里

### 3 研究内容

高松支部は, 支部が広域になったことから3ブロックに分かれて研究授業を行い, 「読み取った事柄を自分の言葉で解釈し論理的に表現する力」をどう育てるのかについて考えている。そのため, 「表す力(特に文字言語による表現)」を付けるために実態を把握しながら状

況を分析し、各学年における実践を積み重ねてきた。また、討議の視点を3点に絞ることで、各ブロック共通理解のもと、研究主題にせまる討議を行った。

研究討議の視点	表す力を付けるために、どのような学習を行えばよいのか。
研究討議の視点	主体的な学習を組織するために、どのような場でどのように評価し、どのように支援をすればよいのか。
研究討議の視点	主体的な学習を組織するために、単元をどのように構成・工夫すればよいのか。

<各ブロック研究授業より>

#### 西ブロック

##### 第1回

- ・ 物語曲線を作ることで、時間的な流れを把握しキーワードを見つけることができている。また、クライマックスを表す文を検討する活動では、自力読みの力と考えを伝える力の両方を育てることができる。よって、表す力をつけるために物語曲線を単元の中に取り入れるのは有効である。
- ・ 本時のまとめとして手紙文(決意文)を書くのはよかった。ただし、主人公に同化してこそ書けるものなので、子どもの意識に沿った読みを展開しなければならない。

##### 第2回

- ・ 総合的学習の時間と国語を結びつけた単元構成を組むことは意義あることである。読み取りを生かして表現をするための活動のつなぎ方の工夫が必要である。
- ・ 子どもが書いた表現物のチェックをすると達成度が分かる。その達成度をチェックしていくことによって次の支援が見えてくる。
- ・ ペア活動だけで考え(表す力)を深めるのは難しい。習熟度をカバーするためにも全体交流を工夫しなければならない。

#### 東ブロック

##### 第1回

- ・ 読むこと自体が目的ではない。読み取り後の表現を、自分の言葉で表すために、素材として読みを行い、表す力につないでいく。
- ・ 動物と人間(自分自身)を対比させることで、動物の環境への適応の仕方をとらえ、主体的に自分の言葉でまとめることができた。

##### 第2回

- ・ 教材文と辞典作りの活動がかけ離れたものである。そのため、教材文から辞典作りの手順を読み取り、理解することが必要(=論理的思考力)。
- ・ 分かりやすく説明するために表現する技能の基礎を教えること、表現者として言葉を大切に言葉にこだわりをもつことが必要である。

#### 南ブロック

##### 第1回

- ・ 単元を通して、学んだことを表現物(絵地図・つばやきノート)に表すことで、自分の考えが明確になり、主体的な学習ができる。
- ・ 子どもたちの意見が複数出た場合、教科書の記述に戻り確認し、根拠にもとづいた考えを述べられるようにする。

##### 第2回

- ・ 言葉(叙述)を、自分の経験・実物・動作化・音読などをつなぎ、五感を通して理解させることが表す力につながる。
- ・ 環境設定(場面の様子)を視覚的にとらえられるように環境設定しておくこと、主人公の気持ちに浸りきることで自分の考えをはっきりとめらせることができる。

<夏季研修会より>

研修1 各ブロックで行われた研修会について、ビデオ等を用いて研究部より報告。

研修2 元放送局のアナウンサーの方から、相手に事実や状況を正確に伝える際に大切な思いや視点についての講演が行われた。また、参加者がレポーターとなり、現地レポートをする演習も行った。